無所属の会・市民の力

湖南市議会議員

赤祖父ゆみ

9月議会報告書

NO.69

２０２０年 １０月

TEL／FAX 0748-77-5437

無断での複写・転用を禁じます。

♪ご意見お待ちしております。

［発行責任者：赤祖父ゆみ］

アドレス：pengin-fight.6.6.3.9@zeus.eonet.ne.jp

ホームページ：http://akasofu-yumi.net/

今年の秋は寂しい秋です。

運動会、文化祭、各種お祭り・・ほとんどが中止に・・

皆さんとお出会いする機会も減ってしまいました。

未だに、新型コロナウイルスの終息は見られません。

しかし、もうこれ以上経済が疲弊しないよう社会が動き始め、新しい生活様式を守りながら、毎日を送っていただいている事と思います。私達は、しっかりと対策をしていれば感染しないことも、身をもって解ってきました。正しく恐れる事も重要だと感じています。湖南市は、コロナウイルス関連で、事業中止等による影響額は約3000 万円。家に閉じこもっている事により、家庭での様々な不和や、介護保険要支援者が各種サービスを受けないでいることによる弊害も見えてきました。6 月議会で質問をしました、緊急小口資金特別貸付は、3 月から 8 月までで申請数は 671 件。総合支援資金特別貸付の申請数も合わせて増加しています。今後自主財源の根幹である税の落ち込みが懸念されます。これらの状況を総合的に見ていくと、大きな予算を必要とする新庁舎建設は、今ではないという判断に至りました。東庁舎耐震診断の Is 値も本当に倒壊の恐れがあるのかの検証をもう一度行ない、緊急性があるものかどうかの判断が必要となってきます。庁舎のある甲西中央区は全体的に土地が低い事がわかっており、今回の補正予算で、国土強靱化事業として、中央区の排水対策の調査費 2000 万円を予算化したことは、大変良かったと思いました。また、本会議で質疑もいたしましたが、懸案事項であった、JR 石部駅のバリアフリー化を含む駅舎周辺整備事業ですが、国庫内示額が予定額を下回り、その分を合併特例債で市が補填しました。県が考える優先順位が上位ではなかったようです。JR 西日本は、コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、運営が大変厳しい中ではありますが、企業責任としてこの事業を進めていただける事は、私を含めて、駅舎改築を望んでおられる多くの市民が安堵した事と思います。今後も市から県への予算要求を、引き続きしていただけるよう、働きかけをお願いしたいと思います。

実質上 11 月 9 日から新市長のもと、湖南市が誕生します。子育て施策の充実を訴えられています。私も、大いに期待しています。財源をどう捻出していくかが大きな課題です。第二次湖南市総合基本計画を現在思案中ですが、5 年後の夢ある未来を、 市民の皆さんと意見交換をしながら、市長に訴えていきたいと思います。皆様一人一人の協力を、重ねてお願い申しあげます。

一緒に頑張っていきましょう！

赤祖父　ゆみ

令和元年度湖南市一般会計 決算の認定について！可決

歳入総額　201 億 4452 万 4533 円
歳出総額　195 億 8859 万 6097 円
単年度収支　2 億 2000 万 1641 円の黒字

自主財源は前年度比 6．6%の減
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、景気経済の悪化により今後益々自主財源の落ち込みが懸念されます。

収納率が前年度に比べ 0．06%増
粘り強い職員の頑張りが見受けられます。

経常収支比率 1%の増
これ以上上がらないよう注視が必要。

決算常任委員会

賛成討論をしました。

○ 人への支援を予算化した事で、学校現場では、子ども達が落ち着きを見せている。学齢期の子ども達の 25．9%が何らかの支援を必要としており、引き続ききめ細やかな支援体制が望まれます。
○ 歴史資料館、体育施設、HAT など、指定管理者制度を活用しての施設運営では、管理者に任せっきりにしない。最終責任は市にあり、目的達成のために所管のチェックが重要。
○ まちづくり協議会の運営について、担い手不足に悩まされている状況。区長との連携、その組織編成の検討が必要である。
○ 幼児教育の無償化により、待機児童が増えている。また、6 つの園が民営化され、国の補助金も活用しながら、阿星あかつき保育園、三雲くじら保育園から耐震を含んだ新園舎建設が進められていきます。課題は 100 名からの保育士不足で、常々要望している、保育士の処遇改善が必要である。

国民健康保険特別会計決算の認定可決

平成 30 年度から広域化となり、安定的な運営がなされている。収納率は県下で 15 位。なかなか難しい現状がある。

国民健康保険診療所特別会計決算の認定可決

医師確保が難しい中、現在 3 名の医師が携帯電話を持ちながら、休日に往診。主治医と連絡を取って出向いている。まだ多くはないが看取りも行なう。石部の医師が岩根診療所に応援診療を実施している。

介護保険特別会計決算の認定　可決

介護給付費準備基金積み立て金が 7283 万 8716 円減額となっています。7 期計画で基金はなくなるだろうと予想。コロナ禍でサービスを控えてきた影響が今後考えられる。保険料を 8 期計画の中で考えて行く。地域での支え合いが今後更に重要になる。

令和２年度湖南市一般会計 補正予算(第 7 号)！可決

石部駅周辺整備事業
国の社会資本整備総合交付金、1 億 7722 万 9 千円減額となり、旧合併特例債で補填されている。2 億 1000 万円の予定が 2010 万円。今後、交付金確保に努力していく。石部コミュニティハウスを廃止し、令和 3 年 1 月頃、工事着手。

河川維持補修事業
国土強靱化排水対策検討業務委託　2000 万円
菩提寺地区及び中央区の排水対策の検討。

総務常任委員会審査

「東庁舎整備計画」の 白紙撤回を求める請願！不採択

反対討論をしました。

大切な市民の皆様からいただいた請願です。市民の方と一緒に委員会で議論を重ねられたら、尚理解が深まったのではないかと思います。私達議会は、庁舎建設については平成 28 年 6 月から特別委員会が設置され、令和 2 年 6 月まで 24 回の庁舎整備特別委員会で議論が交わされ、基本設計に対し「庁舎整備に係る提言書」を提出し、より深い議論となるよう、委員の人数を議員全員にしながら議論してきました。国からの補助金の関係で幾分市の提案も急いだ感がありましたので、その時期を半年延長し、より深く議論し決定してきました。築 40 年経つ東庁舎は平成 27 年 2 月に調査した耐震診断の結果は、2 方向とも防災拠点としての Is 値基準 0．9 以上を満たしておらず地震の震動、衝撃に対して倒壊又は崩壊する危険性があると診断されています。職員の命を守ることは最重要と考えます。

○ 合併時に 2 庁分庁方式を採用したことにより、教育委員会、人権擁護課など西庁舎に配置され、学校と福祉の連携がしづらい状況がある。
○ 建築当初（昭和 53 年）からの前期設備や機器が多く、光熱費の増大が課題。

請願項目は、学童保育には空調設備が整備され、耐震工事も始まります。小学校のトイレの洋式化も順次進められていきます。避難所となる体育館には冷風機を設置していきます。請願にある子育て環境の充実は庁舎整備建設予算とは別会計進めていくべき施策と認識しています。しかし、近年今までに経験したことのない新型コロナウイルス感染拡大で多くの市民生活が脅かされています。今後、経済状況が益々悪化するだろうと予想されることを鑑み、今は庁舎整備ではなく、コロナ対策を 1 番に考える必要があり、請願にある白紙撤回ではないと思います。

湖南市地域総合センター条例の一部改正可決

松籟会館の名称を「湖南市いしべ交流センター」と改め、市は一般施策に移行していく方向性です。

新型コロナウイルス感染症対策基金条例の制定可決

新たに基金条例が制定されました。

未来を見据えた ICT 教育について！

問　教育の ICT 化導入のねらいと、必要する予算は。

答　新型コロナウイルス対策としても、子どもが在宅学習（テレスタディ）が認められ、そのことが「不登校」という概念がなくなるような教育改革が実現する事を期待しています。総予算は４億３４６万８０００円。国からの補助は３億２３２４万１０００円。iPad の機器４８４６台を購入します。今後、年間８０００万円の経費が必要となります。

問　調達から運用の「流れの全体像」は。

答　配線工事の工期は２月末。ネット設定後、納入となり、１月末を予定しています。

問　文部科学省・アドバイザー事業との協力体制は。

答　GIGA スクールサポーターの配置と、次年度から ICT 支援員を配置し、教職員をサポートしていきます。

問　導入時の方針決定、フィルタリングは。

答　湖南市教育情報セキュリティポリシーを基本とし、教育情報セキュリティ運用規定を策定し、教育委員会と学校が連携しながら進めていきます。

問　校外でも使用可能ですか。

答　新型コロナウイルス感染症第２波に備え、モバイルルーターの購入を進めています。具体的な活用についてはこれからの検討となりますが、不登校児童・生徒への対応においても遠隔授業での教育は有効な手立てと考えています。

問　学校・教育委員会内での ICT 支援組織体制は。

答　今年度は、ICT スキルの高い GIGA スクールサポーター３名を配置。児童・生徒のダブレット端末操作や教師に対しては、授業の支援ソフトの活用マニュアル、教員向け研修を行っていきます。来年度は ICT 支援員を６校に１名の配置を予定。多忙な教職員の働き方改革の視点からも教職員をサポート。指導力を高めていきます。

市道宮ヶ谷線の歩道確保について！

問　今回で、１０回目の質問となります。市道宮ヶ谷線は、小学校、中学校、石部高校の通学路でもある幹線道路です。７月に地権者との裁判も終わったように聞いていますが、今後の歩道確保対策について。

答　令和２年３月に改訂しました湖南市道路整備計画にも継続事業として、短期に整備する路線として位置づけ、歩道の確保を進めていく計画となっています。策定委員会からの提言では、現状の交通量等を踏まえた上で、現道内で歩道の改良確保と言った意見を頂戴している。まずは、今年度に交通量調査を実施し、現道の利用状況を把握、地域関係機関と連携を図りながら、歩道を含む道路整備の方向性を検討していきます。地権者とは、別事案での訴訟結果が出たところですが、今後も用地取得に影響がでることを懸念します。

問　将来的には新中郡橋を踏まえた都市計画道路としての考え方は。

答　新中郡橋は、滋賀県より令和元年から地形測量委託を発注され、国道１号から野洲川を越え、県道石部停車場線までの地形測量が今年８月に完了しています。これに基づき令和２年度から令和３年度にかけて道路法線の検討がされます。県道のネットワークとしても重要なことから、滋賀県の都市計画道路として位置づけられるよう要望していきます。

甲賀広域行政組合議会　一般質問

Facebook 広報活動の効果

甲賀広域消防本部は、４月頃から Facebook での広報活動をはじめました。フォロワー数は、６ヶ月で 180 名余り。

消防職員の訓練の様子や、熱中症などの注意喚起など、市民と消防団を繋ぐ重要なツールだと思います。両市の協力でもっと普及すべき。以前からある「広報こうか１１９」も添付してはと提案しました。

研修報告と議員活動

マニ研・オンライン研修会

第３回　７月１日　(水)

「コロナ禍で議会は何ができたのか、何をなすべきか」をテーマに研修会に参加しました。大津市議会では、BCP が実際に動かなかったこと。事例報告として、会津若松市、西脇市、可児市のコロナ禍での議会運営の工夫を聞きました。

災害ボランティア養成講座

第１回　７月 10 日（金）

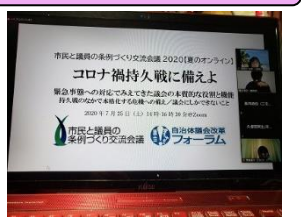
井岡仁志氏：災害支援ボランティアセンターアドバイザーの講演。人口減少、高齢化、単身化の現状。助けてと言えども人はなし。だから地域が繋がって‥避難行動要支援者は、市と民生委員としか繋がっていない。今後の計画に生かしていきたい。

暮らしと政治・女性の出番

第２回　７月 18 日(土)

地域婦人会、地域デビューリーダー講座。「コロナショックから見えてきた暮らしの不安、今こそ皆で話し合おう」。滋賀県下の婦人会リーダーが婦人会館に集まり、意見交換をしました。感染者の厳しい状況が見えてきました。

コロナ禍持久戦に備えよ



ZOOM 研修　７月 25 日(土)

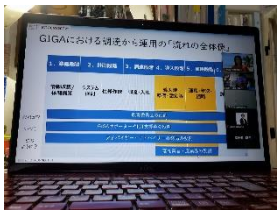
今だから準備しておかなくてはならないこと。法政大学の廣瀬克哉氏の解りやすいお話を伺い、多くの先進地の議員から話を聞きました。議会は合議体でなくてはならない。Wi-Fi 環境整備が不可欠で、湖南市も来年度予算化予定です。

子どもの貧困施策学習会

ZOOM 研修　８月２日　(水)

コロナウイルスの影響を受けた市町村の子どもに寄り添うさまざまな施策について、国の補正予算も含めた事例を学習しました。福岡県古賀市長のチルドレンファーストの取り組みに心強く感銘を受けました。最後は自分が責任を取る！！

GIGA スクールセミナー



８月 20・21 日(水・木)

２日間に渡り、GIGA スクール構想について。東洋大学、山田肇教授の講義を受け、世界の ICT 化への変化。障がいを持つ子どもとのコミュニティのツールとしても活用出来る。次の日は、文部科学省のアドバイザー事業について学習する。

議会報告会・・湖南市の未来のために

令和２年７月 26 日 :石部まちづくりセンターにて

- 地球温暖化問題
- 幼稚園の民営化について
- GIGA スクール構想について
- DV が増えてきている現状
- まちづくり協議会について

意見がでました。

今後の議員活動に生かしてまいります。
ご参加の皆様、ありがとうございました。

８月４日（火）市民と議会の懇談会（総務常任委員会）

Next Commons Lab
（地域おこし協力隊）

石部宿場町の歴史を感じながら、おもしろいことが始まっています。地元の人々と如何に繋がるかが課題です。

９月 29 日（火）事務事業評価の提言を市長に提出！

３ つの常任委員会でまとめた５つの事業の提言を、議会改革推進特別委員会として、市長に提出してきました。今後事務事業評価の目的も再確認していきます。

７月	６日	甲賀広域行政組合議会・議会運営委員会
	７日	議会広報委員会
	12 日	立石川県道歩道の清掃
	13 日	議会広報委員会
	15 日	決算常任委員会
	16 日	総務常任委員会
	17 日	災害ボランティア運営隊会議
	28 日	７月臨時議会
８月	４日	総務常任委員会
	11 日	総務常任委員会
	25 日	全員協議会・庁舎整備特別委員会
	28 日	議会運営委員会・議会広報委員会
９月	１日	９月議会定例会（29 日間）
	19 日	デマンド交通学習会（水戸まちづくり協議会）
	26 日	災害ボランティア運営隊設置運営訓練
	27 日	スキルアップ研修会
	30 日	議会広報委員会
10 月	１日	甲賀広域行政組合議会
	４日	湖南市総合防災訓練

風水害、地震、台風による停電など、今できる対策をしておきましょう。助け合える地域づくりを皆さんと共に・・